

議会と語ろう会



議会報告会
報告書はこちら

播磨町シニアクラブ連合会

■主な質疑応答

問 であいの道の花木の名札がなくなっているの
で、再度付けてほしい。

答 土木課へ提言する。

問 加古川市・明石市と連携して、コミュニティバスのルートの増便はできないのか。

答 路線バスの利用者が少なく現状での増便は難しいと考える。タクシー利用券を利用してほしい。

問 現状、予算やタクシーの台数に限りがある。

答 北古田地区の再開発の説明会で、行政側から抽象的な説明が多くメリットやデメリットを教えてください。

※正式には、「北古田周辺地区まちづくり」といいます。



連合婦人会



シニアクラブ連合会

播磨町連合婦人会

■主な質疑応答

問 見守りカメラの検知器を活用した見守りサービスとして、認知症高齢者に対する見守りタグの利用料を全額助成するとあるが、個人的に申請するの。

答 申請者は、認知症高齢者の介護をしている家族等となっている。手続きは申請書と契約書を役場保険課に提出していただく必要がある。問い合わせも保険課になる。

問 児童福祉施設の整備工事をするために車を停めると思うが近隣のことを考えてほしい。開所後は保護者が車で送ってくるが、ごみ出しの時間と重なることへの考慮、迷惑を考えてほしい。

答 児童福祉施設の整備工事は、児童福祉施設の利用料を全額助成するとあるが、個人的に申請するの。

問 隣接地に駐車場が整備される。車のルートについては、開所に向けて協議が行われる。

問 米や野菜など物価が高騰している。

答 小・中学校の給食費の無償化はしないのか。

問 町単独で完全無償というのは約2億円かかる。現在、第3子は無償となっている。

問 各コミュニティセンターで議会報告会をしていてと思う。以前は行っていたが今の参加人数など、どういう状況なのか。

答 コロナ禍以降、各コミュニティセンターでの議会報告会が開いていない。各種団体の方に声をかけて実施している。

子供の防災



チーム新星
こうの てるよ
河野 照代議員

子どもの身を守るための配備は

衝撃緩和の運動帽を検討する

問 激甚災害への対応は日頃から備えと、子どもたちの防災教育が大切である。子どもたちの意見を防災計画に組み込んでほしい。

答 令和7年度に実施する『こども防災計画』で出た意見、質問などを防災計画に組み込んでいきたい。

問 さまざまな災害を教訓に消防署・地域消防団とも連携し、地域も巻き込み、小・中学校合同の防災訓練をするべきでは。

答 町全体での重層的な防災訓練を考える。

問 子どもたちに防災の担い手としての成長を願うが、自身を守る防災ヘルメットを一人一人に配備するべきでは。

答 学校改修時に安全対策の強化は講じている。防災ヘルメットに関しては、衝撃吸収材の入った頭を保護する運動帽で検討していく。

子どものAI教育は

問 AI時代の到来によって社会



頭を守って避難

問 最先端技術も人間性があってこそ幅広い領域の活用が期待される。どのような方針で臨まれるか。

答 ICT環境の充実を図るGIGAスクール構想を推進し、社会貢献できる人材育成に努めていく。

部活動



無所属
たけうち もとなり
竹内 基就議員

指導者の確保は

組織での対応を
目指していく

問 部活動の地域展開を安定して継続させていくには、指導者の力量や人数の確保が問われているが、人数確保やハラスメント対策は。

答 採用時にハラスメント対策や不適切な指導について宣誓書の記入を求め、年5回の研修も実施している。また、指導者の確保不足で規模の縮小が起らないように、令和10年度末をめどに各種目の協会を設置し組織での対応を目指していく。

問 保護者の金銭的負担が今後増えることはないのか。また完全移行後、家庭環境の差が体験の格差に繋がる恐れはないか。

答 現在と比較して保護者の負担が増えることは想定していない。引き続き環境整備などを進め、家庭環境の差が体験の格差につながらないよう体制を構築していく。

依存症対策を

答 内容に応じて支援する



活動に打ち込める環境を

問 オンラインカジノが大きな社会問題になっているが、違法性の啓発や依存症への対策は。

答 学校での情報モラル講習にオンラインカジノの事例も取り上げていくよう依頼している。県や県警とも連携しながら対応を進めていきたい。また、ギャンブル依存症から生じる問題は多岐に及んでおり、内容に応じて適切な支援につなげていく。